

令和 7年度 認可外保育施設 保育安全計画(居宅訪問型保育事業者)

事業者氏名:株式会社MY doctors 病児保育のサニー

◎安全点検

(1)訪問先の設備・周辺環境等の安全点検

点検項目	点検内容及び点検方法
室内設備	(玄関やキッチン、ベランダ等について記載) 玄関や窓の鍵はお子様の手の届く位置か確認。ベランダに踏み台になるような物は無いか確認。コンロのスイッチにお子様の手が届くか確認。包丁やキッチンバサミが出ていないか確認。浴槽に水が入っていないか確認。浴槽、トイレの扉は閉まっているか確認。
室外設備	(非常口や非常階段、消火設備等について記載) 玄関以外の出入口の位置の確認(通路に荷物などが無い確認)。消火器保管場所と使用法の確認。
周辺環境	(道路や公園、河川等について記載) 交通量、河川の大きさや訪問時の水位の確認。地震などで避難する際に備えて近隣にガソリンスタンドや工場、ブロック塀など危険な箇所がないか予め地図等で確認し訪問しながら目視確認する。
保育室内	(落下の危険のある物や刃物、誤飲につながる小さな物等について記載) 危険物やお子様に触ってほしくない物が出ていないか、あるいは床に落ちていないか確認し、見つけた場合はお子様が近付けない、使えないように手の届かない場所に移す。
玩具・遊具等	(小さな玩具や危険な遊具等について記載) 玩具の部品を口に入れることがないように、壊れたり、欠けたりしていないか確認し、該当の物があれば除けておく。

(2)マニュアルの策定

分野	策定期期	見直し(再点検)予定時期	管理場所・方法
重大事故防止マニュアル	令和5年8月8日	令和7年4月1日	事務局・社内ドライブ
□ 午睡	令和5年8月8日	令和7年4月1日	事務局・社内ドライブ
□ 食事	令和5年8月8日	令和7年4月1日	事務局・社内ドライブ
災害時マニュアル	令和5年8月8日	令和7年4月1日	事務局・社内ドライブ
119 番対応時マニュアル	令和5年8月8日	令和7年4月1日	事務局・社内ドライブ
救急対応時マニュアル	令和5年8月8日	令和7年4月1日	事務局・社内ドライブ
不審者対応時マニュアル	令和5年8月8日	令和7年4月1日	事務局・社内ドライブ

◎事故発生時における対応の流れ

想定される事故	対応の流れ
授乳用のお湯を調乳ポットでお湯を沸かす。哺乳瓶にお湯を注いでいる際にこぼし、お子様にかかって火傷をさせてしまう。	・水道の流水で15分間冷やす。 (氷や保冷剤では冷やさない) ・患部を写真撮影する ・事務局に写真とともに報告する(指示を仰ぐ) ・救急車を呼ぶ(119通報)
お子様が室内を走っており、床に落ちている紙を踏み滑って転倒する。	・怪我の状態を確認 ・骨折の可能性あり・流血・救急車を呼ぶ(119番通報) ・頭部打撲・歯が欠ける、抜ける・出血・事務局に連絡 (指示を仰ぐ)
床に落ちている異物を拾って口に入れる。声をかけられて驚き飲み込んでしまう。 ・大人の薬 ・磁石 ・煙草 ・ボタン電池	・吐かせる、何かを飲ませるは不要 ・事務局へ連絡、救急車を呼ぶ(119通報) (京都府立医科大学附属病院へ問い合わせる) 【吐かせたり、何かを飲ませたりの対応をしない理由】 ※大人の薬の誤飲、特に血圧の薬の誤飲は死亡若しくはICU ※磁石2個以上誤飲すると体の中で引っ付き胃腸に穴が開く ※煙草の火消しに使った水を誤飲することはかなり危険 ※ボタン電池は食道に入ると放電、胃に入ると溶解する
不審者が侵入して来る。	・お子様の近くに行く ・距離をとり身を守る ・近隣の店や家屋に逃げて助けを求める ・110番通報する
養育者様が在宅中、コンロの火を消し忘れ、やかんが空焚きになり火災発生。	・「火事だ」と大声で叫び助けを求める。 ・二次災害防止の為、初期消火可能な火元なら初期消火をする ・二次災害防止の為、窓、扉は閉めてお子様を連れて避難 ・119通報

◎児童・保護者に対する安全指導等

(1)児童への安全指導(保育サービス提供時における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全等)

対象児童	指導内容及び指導方法
乳児・ 1歳以上3歳未満児	・家庭内での事故防止について(火傷・誤飲・窒息・溺水) ・熱中症対策 ・暖房器具における事故防止
3歳以上児	・家庭内での事故防止について(火傷・誤飲・溺水) ・熱中症対策 ・暖房器具における事故防止

(2)保護者への説明・共有

説明内容	共有方法
・安全計画及び安全に関する取り組みの内容について周知を図る。 ・お子様が安全に係るルールやマナーをご家庭でも知らせていただけるように依頼する。 ・月に一度は家庭内の保育環境をチェックし、保育に適していない箇所は説明し改善のご協力を依頼する。 (事前打合せの際に必ず説明する必要がある内容等を記載)	・ホームページ・会員へのお知らせ ・口頭 (お引渡しをする際に1日の様子を伝える中で事故に繋がるような出来事あった際はお伝えしご家庭でも学ぶ機会を作っていただくよう依頼する)

◎訓練・研修

(1)研修・講習受講について

研修・講習内容	実施予定日／実施予定機関
(例)事故発生時に適切な救命処置が可能となる実技講習	年 月 日 /
事故予防と感染症対策について	令和5年11月 幼保総合支援室 保健師・看護師
事故発生時に適切な救命処置が可能となる座学講習と実技講習 (心肺蘇生法・気道異物の除去法・AED)	令和6年1月 株式会社MYdoctors 代表取締役 宮本 雄気(医師)
病児保育・通常保育で重要な外因性疾患	令和6年2月 株式会社MYdoctors 代表取締役 宮本 雄気(医師)
アレルギーの基礎知識と対処法	令和7年2月 株式会社MYdoctors 代表取締役 宮本 雄気(医師)
事故発生時に適切な救命処置が可能となる座学講習と実技講習 (心肺蘇生法・気道異物の除去法・AED)	令和7年4月 株式会社MYdoctors 代表取締役 宮本 雄気(医師)

(2)行政等が実施する訓練・講習スケジュール

※京都市等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて、参加目途にかかわらずメモ

令和6年12月 食欲アレルギーの正しい知識と適切な理解 講師:さいわい子どもクリニック医師 古川真弓氏 会場:キャンパスプラザ第3講義室
令和7年 7月 基礎から学ぶアレルギー疾患と救急対応 講師:京都府立医科大学付属病院 小児科 土屋邦彦 会場:キャンパスプラザ第3講義室
令和7年 7月 食物アレルギーの緊急時対応についてロールプレイで体験しよう(エピペンの体験) 講師:ひばりがおか こどもとアレルギーのクリニック PAE(小児 アレルギーエドゥケーター)看護師 若林由花氏 会場:ウインクあいち

◎再発防止策の徹底(ヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策)

ヒヤリハット事例についてスタッフで共有し、再発防止策について検討する。

(これまで自身が経験したことや他のシッター等から伝え聞いた事例と、その防止策を記載)

【事例】

はいはい歩きができる月齢のお子様のお預かりの際、兄弟の帰宅時にベビーゲートを開放したままにしたことにしばらく気付かずにいた。遊んでいるスペースからゲートの向こう側には50cmくらいの段差があった。ご家庭からも過去に落下したことがあると共有を受けていた。

【防止策】

幸い落下もなかったがお子様は階段の方向に視線が向いていた。人の出入りの際にはベビーゲートの開放は特に注意をしていく必要がある。

◎その他の安全確保に向けた取組(関係機関や近隣住民との連携等)

- ・警察、消防など事務所所在地の地域の関係者と連携し研修や講習をしていただく。
- ・LINEワークスを活用し、スタッフの訪問、辞去と共にお子様の引き渡しの確認をする。
- ・ご家庭内では安全に保育できない環境もあるため、月に一度は安全確認を一緒にしていただき、どのような事故に繋がるかの説明等をしながら改善の協力を求めている。
- ・市内全域の関連施設への訪問(警察署・消防署・幼稚園・保育園・小規模園・児童館・はぐくみ室)
- ・京都市消防局から認定を受けた応急手当普及推進事業者として、地域への応急対応や訓練の促進に取り組んでいく。